

本装置の設置と各部名称

本装置の本体の設置、ケーブル、エア配管の接続を説明します。

1. 本体の設置と接続及び取り扱い

- 1) 据付床面積を確保します。

寸法：800 (W) × 750 (D) × 1850 (H) (単位 mm)

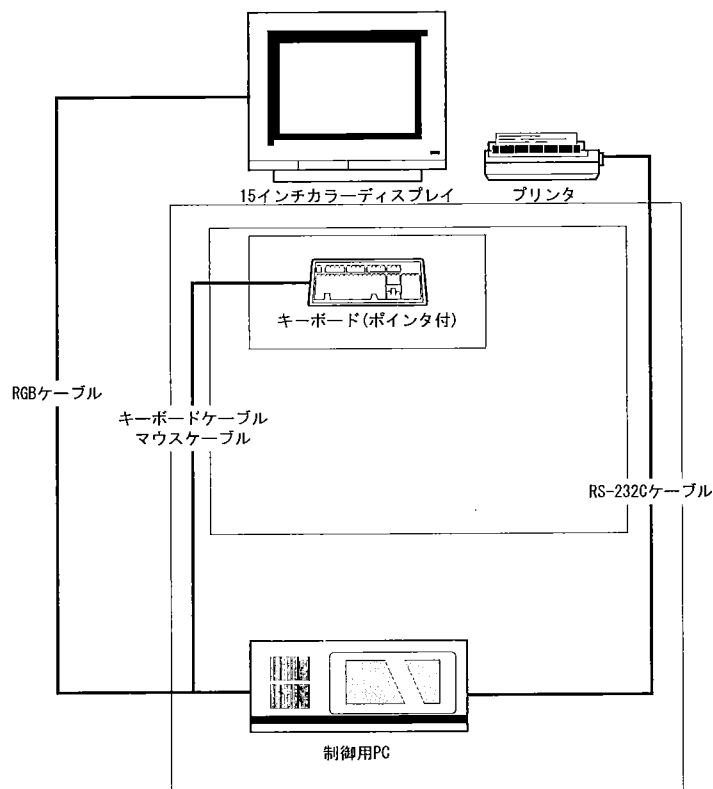
重量：250kg

装置は水平で堅固な床上に設置して下さい。装置に付属する4個のアジャストフットにて固定して下さい。固定する際には水準器等を使用して水平に保つようにして下さい。

床面が不安定な場合は適当な厚さの金属片などを挿入して平行度を保って下さい。

- 2) 各部のケーブルを接続します。

標準仕様ではディスプレイ、プリンタ、パーツフィーダのケーブルを接続します。



PC周辺ケーブル接続図

3) エアー配管とACケーブルを接続してエアー供給及びAC電源を入力します。



AC電源 : 国内 単相 AC100V 50/60Hz 500VA
中国 単相 AC220V 50Hz 500VA (オプション)
フィリピン 単相 AC200V 50Hz 500VA (オプション)

エアー源 : 0.4[Mpa] 8φ以上の配管であること
水、油、ダスト等含まないこと

本体側継ぎ手 カプラ 20PM (日東) 但しホース側メスプラグはユーザー準備

1-1. ブレーカーの取扱い

ブレーカーは装置全体(主電源)の ON-OFF を行います。

上側で ON となり電源が供給されて装置上部のサビソケットが使用可能となります。このサビソケットは主にディスプレイ・プリンタ用の電源です。ブレーカー左に配置しているパワースイッチではサビソケットは OFF にすることはできません。

雑音源となる機器は接続しないで下さい。(装置誤動作の原因となります。)

サビソケットの空きには他の機器を接続しないで下さい。

他の機器の接続を行う場合には必ず本体と別電源で行って下さい。

1-2. 周辺機器の取扱い

15 インチカラーディスプレイ

装置全体(主電源)で ON-OFF を行うためディスプレイの主電源は

ON 状態にしておいて下さい。ディスプレイの電源は装置上部の AC100V コネクタに接続します。

ディスプレイの映像信号ケーブルは、パソコン後部の RGB コネクタに接続して下さい。

画面の調整方法詳細はディスプレイの取扱説明書をご参照下さい。

プリンタ(DPU-414)

装置全体(主電源)で ON-OFF を行うためプリンタの主電源は

ON 状態にしておいて下さい。プリンタの電源は装置上部の AC100V コネクタに接続します。

プリンタケーブルは、パソコン後部のシリアルポートに接続して下さい。

プリンタの詳細は、プリンタの取扱説明書をご参照下さい。

1-3. パソコンの取扱い

装置の電源を ON した後でパソコンのパワースイッチを ON します。

通常時はフロントカバーを閉めて運用して下さい。

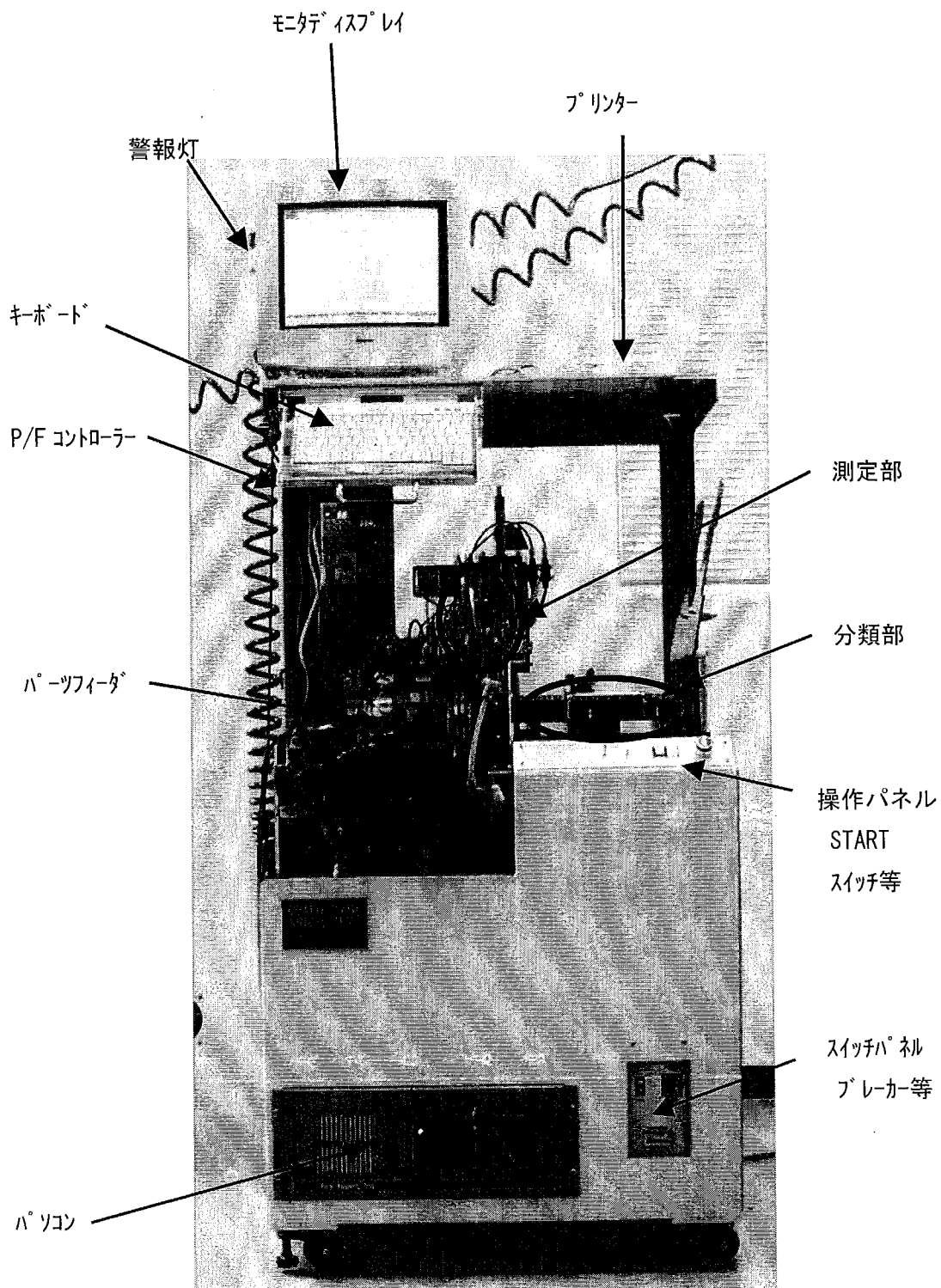


注意

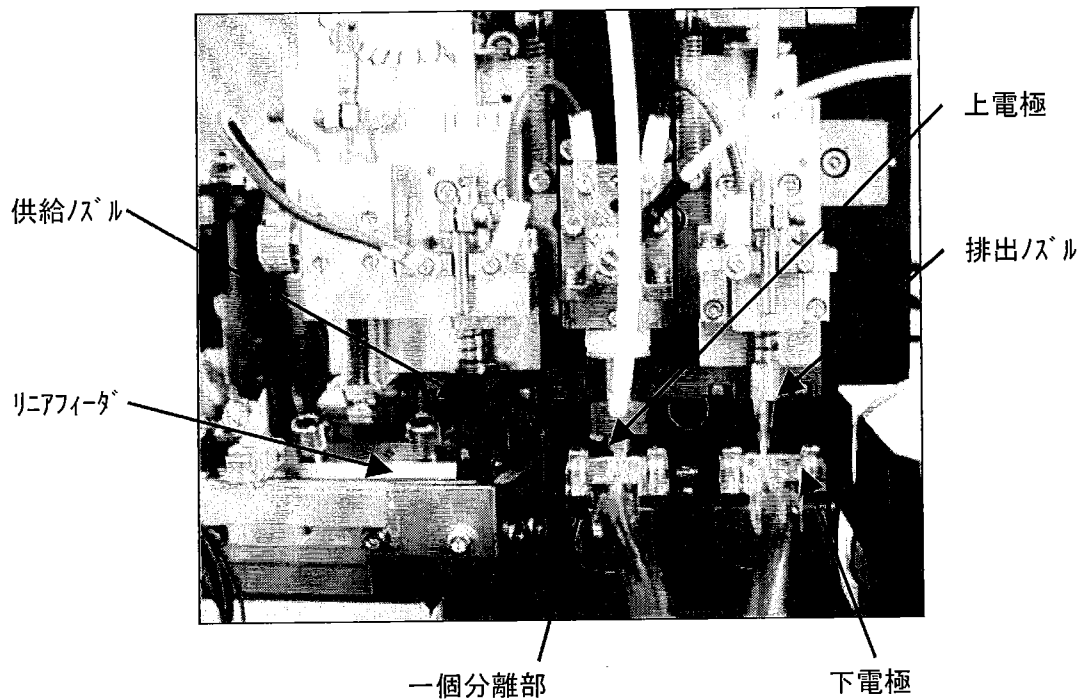
パソコンの電源は【HOME】画面上の [F 1 2] キーで OFF して下さい。通電中にパワースイッチ、リセットスイッチを押すとデータが失われハードディスク等の機器の故障の原因となります。

2. 本装置の名称及び説明

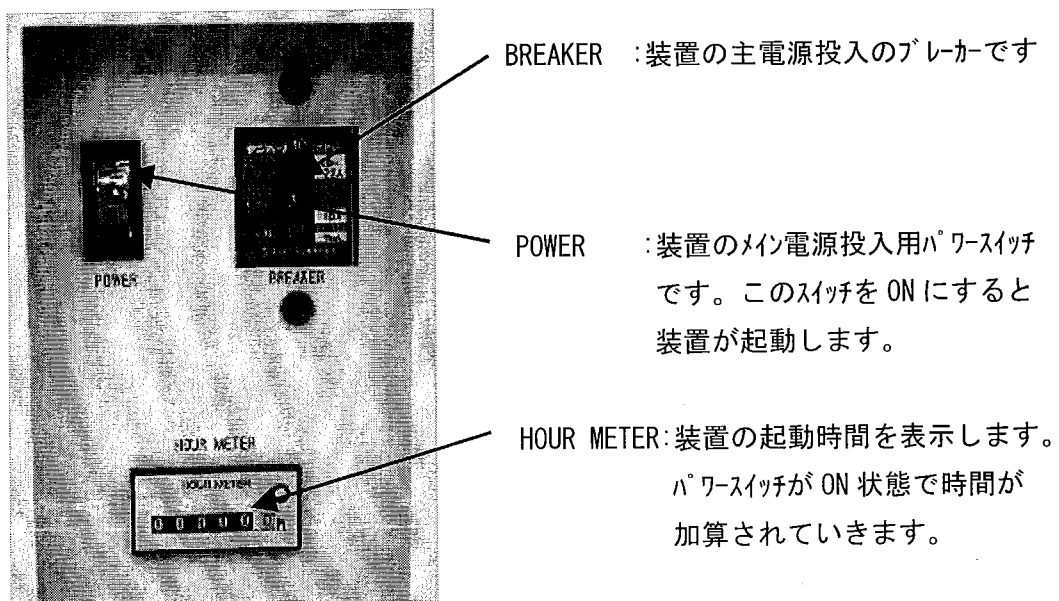
2-1. 外観図



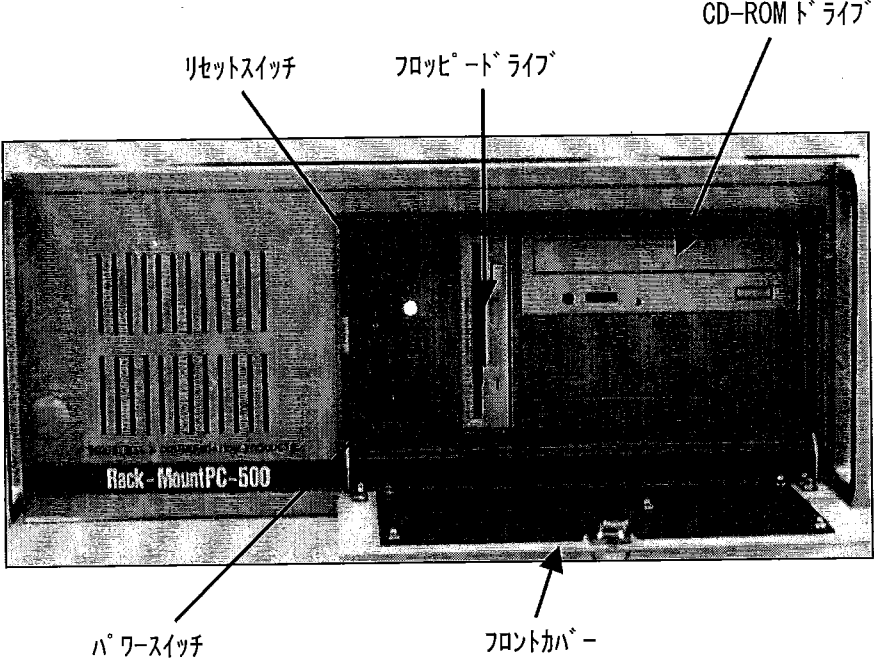
2-2. 測定部



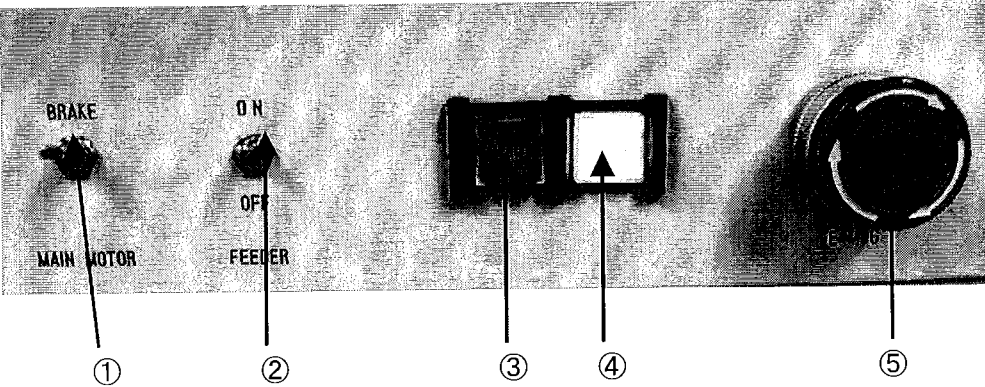
2-3. スイッチパネル



2-4. パソコン



2-5. 操作パネル



- ① BRAKE (ブレーキスイッチ)
メインモーターのブレーキの ON/OFF スイッチです。
1回 ON (押し下げ) する事でブレーキの ON/OFF が交互に入れ替わります。

② FEEDER (フィーダ スイッチ)

パーツフィーダの動作切り替えスイッチです。

ON : P/F が以下のどちらかのモードで動作します。

- ・ AUTO: 本体が測定中の場合にはフィーダは停止します。測定中以外はパーツフィーダの先端センサが ON するまで振動します。

(前項パソコン操作説明参照)

- ・ SING: 本体が測定中の場合にはフィーダは停止します。測定中以外は関係なく常時振動します。

モードの切り替えはパソコン画面上で行います。

(前項パソコン操作説明参照)

OFF : 停止します。

③ スタートボタン

以下の2つの機能があります。

1. 自動運転開始ボタン : 1度短く押すと本体の自動運転を開始します。
2. インチボタン : 長押しをするとインチボタンとして動作します。
押し続けている間は連続して動作を行います。

上記いずれも運転中はスタートボタンのランプ(緑色)が点灯します。

④ ストップボタン

以下の4つの機能があります。

1. ロットストップボタン

自動運転終了ボタンです。

自動運転中に1度ボタンを押します。パーツフィーダ内を除くすべてのワークを分類後に自動運転を終了します。

停止時は分類アームが分類箱を取り出しすため定位置に停止します。

2. 自動運転停止ボタン

自動運転中に連続して2度ボタンを押すと自動運転が停止します。

サイクル停止となるためその時搬送していたワークを分類して停止します。

分類アームは分類を終えた位置で停止します。(分類箱は取り出せません)

上記いずれも停止時はストップボタンのランプ(赤色)が点灯します。

3. エアークリアボタン

エラー状態から復帰するボタンです。

エラー発生時にはボタン(赤色)及び警報灯が点灯してブザーが鳴ります。

(ブザー設定がONの時のみ)。

このボタンを押すことによりエラーが解除されて停止状態になります。

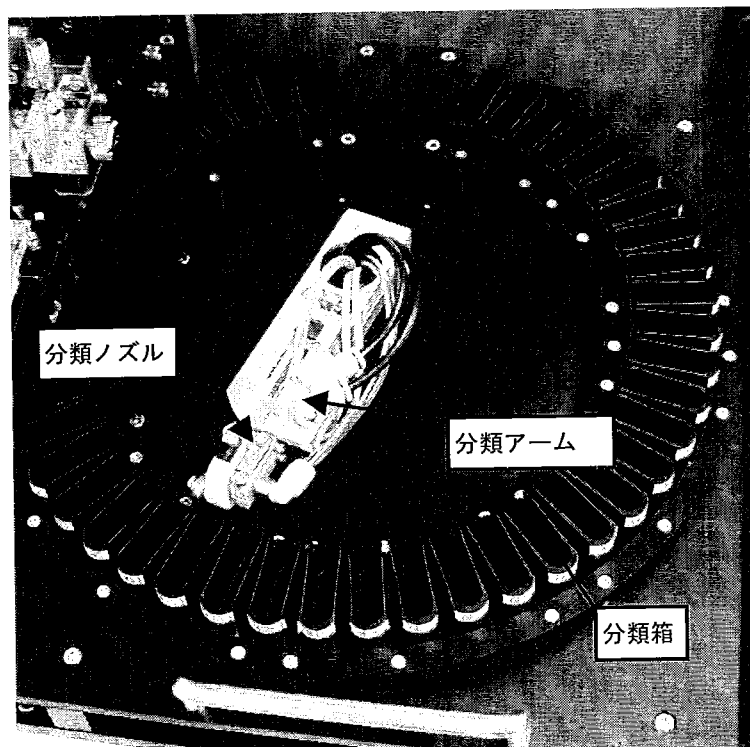
ブザー設定がON時のエラー復帰は2回ボタンを押す必要があります。

- ① 1回目はブザー初, 2回目でエラー復帰が行われます。ブザー設定がOFFの時には1回目のボタン入力エラー復帰が行われます。

⑤ エマージェンシーボタン

自動運転を即停止します。停止後はエラーとして処理されますので復帰させる場合はエマージェンシーボタンを元に戻して本体を停止させる原因となった物を除きストップボタン(エアークリアボタンとして機能)を押して下さい。

2-6. 分類部

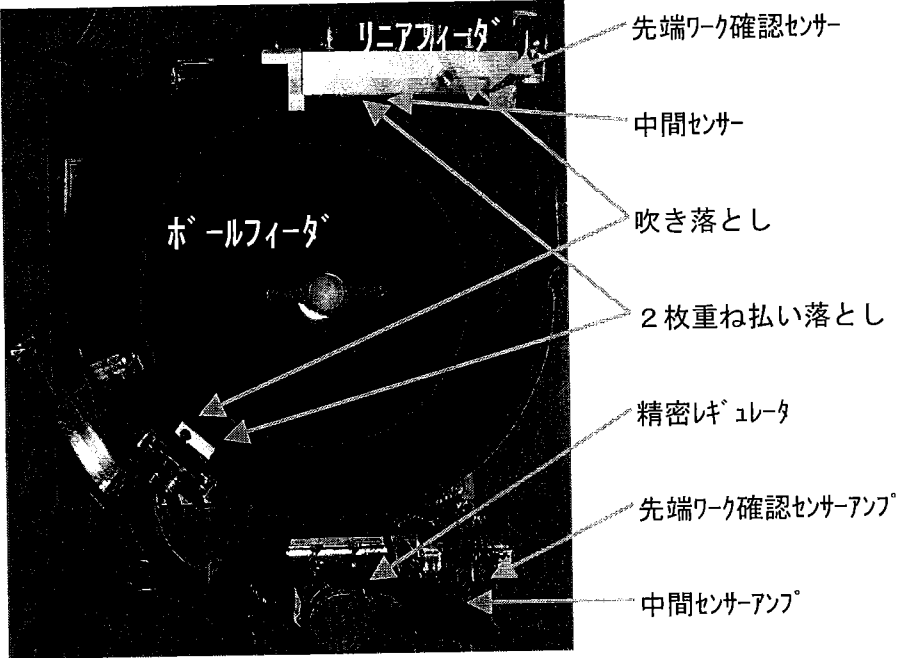


2-7. 警報灯

警報灯はエラー発生時に点灯(赤)します。エラー発生時以外には警報灯は点灯・点滅は行いません。

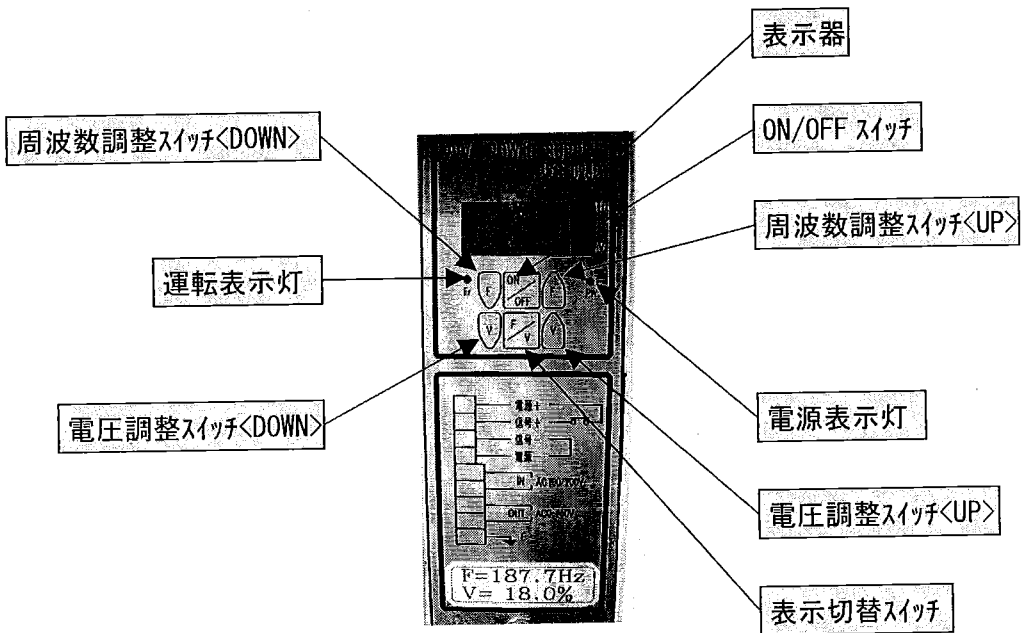
オプションの3色警報灯を装備した場合は、エラー発生時:赤点灯、運転中:黄点灯、停止中:緑点灯 となります。

2-8. パーツフィーダ



2-9. P/Fコントローラー

① リニアフィーダコントローラー



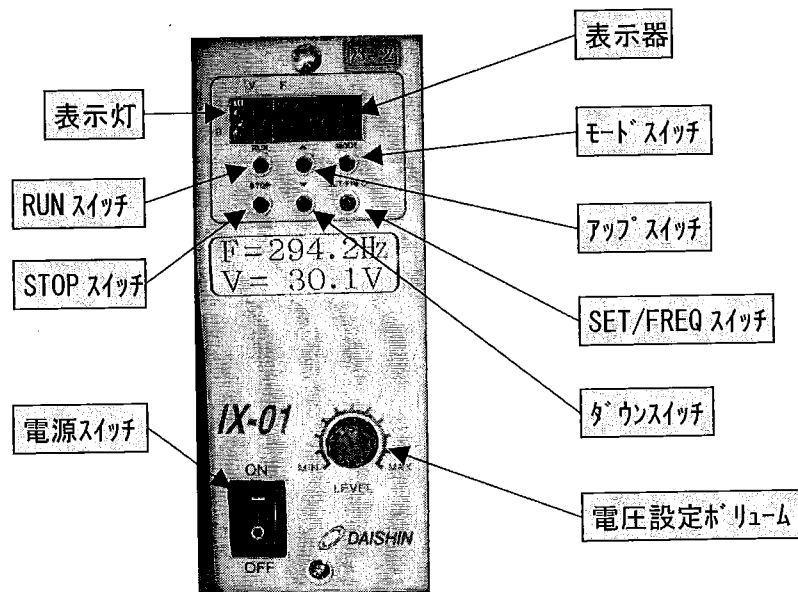
- 1) 周波数調整スイッチ<UP>, 周波数調整スイッチ<DOWN>
周波数調整時に使用してください。表示器に周波数表示をしていないときでも調整可能です。
- 2) 電圧調整スイッチ<UP>, 電圧調整スイッチ<DOWN>
出力電圧調整時に使用してください。表示器に周波数表示をしていないときでも調整可能です。
- 3) 表示器
出力周波数(Hz)、出力電圧(%)及びエラー検出時のエラーコードを表示します。
- 4) ON/OFF スイッチ
外部制御信号の有無に関わらず運転/停止の制御が行えます。
- 5) 運転表示灯
運転出力中に点灯します。外部制御 ON 時に ON/OFF スイッチで停止を選択した場合は点滅します。
- 6) 電源表示灯
電源投入時に点灯します。エラー検出時は点滅します。
- 7) 表示切替スイッチ
表示器の切替に使用します。周波数と電圧の表示がスイッチを押す毎に切り替わります。スイッチを長く押しますと周波数がロックされます。再度スイッチを長く押しますと周波数ロックが解除されます。

エラー

エラー発生時には表示器にエラーコードを表示させて電源表示灯が点滅します。リセット方法は電源再投入もしくは ON/OFF スイッチと表示切替スイッチを同時に長押しして解除してください。リセット時に出力電圧も 0 にしたい時は電圧調整スイッチ<UP>と電圧調整スイッチ<DOWN>を同時に長押しして解除してください。

| エラーコード | 原因 | 対処 |
|--------|-----------|--------------------|
| E-01 | 過電流異常検出 | 出力電圧(%)を下げてください |
| E-04 | EEPROM 異常 | コントローラのメーカー修理が必要です |

②ボールフィーダコントローラー



1) 表示灯

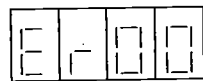
- Power (緑) 電源投入で点灯します。
- RUN (緑) 動作中で点灯します。

2) 表示器

出力周波数 (Hz)、出力電圧 (V) 及びエラー検出時のエラーコードを表示します。



SET/FREQ スイッチにて電圧と周波数の切替を行います。表示器上のドットで電圧・周波数の区別をします。



エラーコード表示

3) スイッチ

- ・ RUN スイッチを押すと運転が開始されます。外部運転信号が OFF の時には STOP と表示されます。
- ・ STOP スイッチを押すと運転が停止します。
- ・ アップ / ダウン 表示器が周波数表示の時は周波数を上下させます。
- ・ MODE モードを切り替えます。モードには「運転」「チャンネルリセット」「パラメータセット」の3モードがあります。
- ・ SET/FREQ 運転中は電圧表示と周波数表示の切替を行います。パラメータセットモードの時はセットキー(確定)の役目をします。

4) 電圧設定ボリューム

電圧の設定を行います。

5) 電源スイッチ

電源の ON/OFF を行います。

エラー

エラー発生時には表示器にエラーコードが点滅表示されます。

リセット方法は電源再投入もしくは ON/OFF スイッチと表示切替スイッチを同時に長押しして解除してください。リセット時に出力電圧も 0 にしたい時は電圧調整スイッチ<UP>と電圧調整スイッチ<DOWN>を同時に長押しして解除してください。

| エラーコード | 原因 | 対処 |
|--------|-----------------------------|---|
| 01 | EEPROM への書き込みが正常に行われておりません | 修理が必要です |
| 02 | 未設定の Ch を選択しました | データ登録している Ch を選択して下さい |
| 03 | ユーザーパラメーターに範囲外のデータが設定されています | ユーザーパラメーターのクリアもしくは再設定をしてください |
| 04 | システムパラメーターに範囲外のデータが設定されています | システムパラメーターのクリアもしくは再設定をしてください |
| 05 | 電源電圧が規定から外れています | 電源電圧を確認してください |
| 11 | 過熱エラーが発生しました | コントローラの電源を切ってエラー解除をしてください |
| 12 | 過電流エラーが発生しました | コントローラの電源を切ってエラー解除をしてください |
| 22 | FB センサーが接続されていません | FB センサーをコントローラに接続してください |
| 25 | 振動が強すぎます | FB センサーの取付を変えて FB センサーレベルを許容範囲内に調整して下さい |
| | | |